

学習内容報告書

学校名	松本市立田川小学校
授業者	小嶋徳仁

1. 単元計画

1-1. 単元名

私たちの田川

1-2. 学年

6 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、国語

1-4. 単元の概要

子どもたちは2年次に奈良井川湧水で、3年次に田川で生き物観察を行い、多くの生き物が川で生きていることを知った。4年次には川の水が生活用水になることや使用した水をきれいにして再び川に戻していることを学習した。また奈良井川で川下り体験をして川での楽しみ方を知った。5年次には海洋プラスチック問題について学習を深め、身近な田川にすてられているゴミも海へと流れていってしまうことを知った。

6 学年では田川でやりたい活動を自分たちで考え実践していきたい。具体的な活動として、田川の生き物を飼育し多様性を感じたり、生き物を守るためにゴミ拾いをしたりしていく。また田川でゆっくり過すための工夫をしたり、活動の過程で気づいた田川の魅力を専門家の力も借りながらパンフレットにまとめたりしていく。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

川の学習を行ってきた子どもたちが田川でやりたい活動を自分たちで考え、実践していくことで、身近な田川の自然について改めてそのよさを感じるようにしたい。これらの活動を通して、これからも自然豊かな田川を守っていかうという思いをもったり、田川を守ることは地球の自然環境を守ることにもつながっているということに気付いたりすることを本単元のねらいとする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・自ら課題を見つけ、その課題解決に向けて工夫しようとする。
- ・自らの課題の解決に向けて、粘り強く考えやり遂げようとする。
- ・友だちと協力して、多様な考えに触れながら、よりよく課題を解決しようとする。

1-7. 単元の展開（全15時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<p>○田川に行き自分がやりたいことを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水切りをしたいな。 ・次は水に入ってみたいな。 ・何か生き物があるぞつかまえないな。 ・シロツメクサで何か作れないかな。 ・田川ですぐすのは気持ちいいな。 	<p>○子どもたちが自分でやりたいことが見つけれられるように活動の時間を確保する。</p>
7	<p>○自分がやりたいことを追究する。</p> <p>〈生き物を捕まえない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物を捕まえるために仕掛けを作ろう。 ・捕まえた生き物は飼いたい。魚にとっては田川の水がいいから田川の水を汲みに行こう。 ・夏休みはどうするか考えよう。教室にいてほしいけれど、魚の命のことを考えたらやっぱり田川に返そう。 <p>〈花飾りを作りたい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シロツメクサで花飾りを作ろう。 ・いろいろな色の花があるから混ぜて作ってみよう。プレゼントしたら喜んでくれるかな。 <p>〈ハンモックを作りたい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川でもっとのんびりしたいからハンモックを作りたい。 ・座るところや、支えのところを作ろう。 ・ノコギリやかんなも使って作りたい。 	<p>○子どもたちのやりたいことを受け止め、方向付ける。</p> 
5	<p>○松本ホテル学会の横山さんに田川にいる生き物について教えていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの田川を大切に守っていくことは、地球の環境を守ることに繋がっている。 <p>○田川での活動をパンフレットにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなにも田川のよさを知ってもらいたいからパンフレットを作りたい。 ・これまでの写真からパンフレットに載せる写真を選ぼう。 ・水遊びの様子、ハンモックでのんびりしている様子を使って田川が楽しい場所であることを知ってもらいたい。 ・名前が分からない魚のことは専門家の方に教えてもらいたい。 	<p>○ZOOM会議ができるように設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川には様々な生物がいる。 ・田川の自然の多様性を守ることは、地球の環境を守ることに繋がっている。 <p>○ICT機器を利用して、パンフレット作りができるようにアプリの操作方法を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川のよさや魅力を伝えるために写真を選んでいるか。 ・ただの生き物紹介ではなく自分の言葉で田川のよさを表現しようとしているか。 ・自分たちのパンフレットをよりよくしようとしているか。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 1 5 時間中の 1 1 時間目

2-2. 本時の目標

パンフレットを作りたいと願う子どもたちが、自分たちと同じように田川の自然を守っている蛍の会の横山さんのお話を聞くことで、田川を守ることも環境を守ることに繋がっていることを知り、田川のよさを伝えるパンフレット作りへの意欲をもつことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>○松本ホテル学会の横山さんについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなことをしてくれていたなんて知らなかった。 ・僕たちのパンフレット作りに協力してくれてうれしい。 <p>○ZOOM会議を開いて横山さんのお話を聞いたり、質問したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモを取りながら聞こう。 ・僕がテレビに映っていた。あの時も横山さんに教えてもらっていたとは思いませんでした。 ・ホテルは50種類もいるんだ。光るのは4種類だけだと初めて知った。そのうちのヘイケボタルが田川にいるなんて初めて知った。 ・僕たちが見つけた魚は何だったのか直接聞いてみたい。質問してみよう。 ・田川にナマズがいるなんて初めて知った。 ・ <p>○横山さんのお話を聞いた感想を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川にも虫とかが減ってゴミが増えているなんてびっくりした。 ・弟子にしてほしいくらいだった。これからも魚のことを教えてほしい。 ・パンフレット製作のために田川のことを教えてくれてありがとうございます。すばらしいパンフレットができそうです。 ・パンフレットにはゴミ拾い活動の写真も必ず入れるようにしたい。 ・生き物がたくさんいて、みんなが田川で楽しんでいっていることを伝えたい。 ・早くパンフレットを作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横山さんが活動を認めてくれて、子どもたちがパンフレットに載せたい生き物について調べてくれたことを伝える。 ・大きな画面で見られるようにモニターを設置する。 ・横山さんからの投げかけなどを復唱し、子どもたちが分かるようにする。 ・時に、横山さんと子どもたちの間に入り、子どもからの質問や子どもの反応を伝えたりする。 <p>〈横山さんのお話：概要〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 4年前のNHKの放送(現在6年生の子どもたちが川の観察をしている様子)を視聴する。 2 パンフレットにまとめる活動をしていると聞き、とてもいい活動なので自分の知っていることも是非教えたい。 3 みんなが調べた生き物以外の特徴的な生き物について紹介したい。 4 ハクビシンとホテルもいる。田川ではナマズは珍しい。 5 ホテルはみんなが活動している場所のすぐ近くにいる。 6 昔はもつともつとたくさんいた。 7 今は環境が変わってしまって生き物が少なくなってきた。多様性もなくなってきた。 8 田川の自然を大切にしていけることは巡り巡って地球環境を守ることに繋がっている。 9 是非パンフレット作りを成功させてほしい。作ったら是非見せてほしい。 <p>講師：松本ホテル学会 横山さん</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・2年生の頃から川の学習を深めてきた子どもたちは最後に身近な田川に立ち戻り、体験を通して徐々に田川に思いを寄せていった。「僕（私）たちの田川」という言葉が多く聞かれるようになった。田川が子どもたちにとって無くてはならないものになり、自然を守り続けたいという思いをもつことができた。
- ・海の無い長野県ではあるが、子どもたちはこれまでの学習を経て、田川にゴミがあることが海を汚すことにつながっているということを意識できていた。本年度の田川の活動でもゴミが落ちていれば必ず拾って帰る姿が多くみられたことからそれは感じられた。
- ・田川の生き物を実際に飼育することで、例えば「夏休み中の世話はどうするか」や「水替えの水はどの水がいいのか」などを真剣に考え、多くの命を田川が育てていることを感じる事ができた。
- ・総括としてパンフレットにまとめる活動はよりよい振り返りとなった。そこで地域で田川を守る活動をしている方と交流し、その方がどれだけ田川を大切に思っているかに気付くことができた。そして同じように田川を大切に思う気持ちが自分たちにもあるということを感じ、子どもたちは田川への思いをさらに深めることができた。



4. 今後の課題

- ・新型コロナや8月の豪雨の影響で子どもたちが企画していた川の観察会ができなくなってしまった。今年度も予備日は設定していたが、それも中止となった。さらなる延期も想定した見通しがあるとよかったかもしれない。
- ・田川を身近に感じられる恵まれた立地を生かして、これからも川の学習を学校全体で続けていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし